



～図書室にはこんな本があります～

No. 117

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。

※書名の後の（ ）の数字は請求記号です。

※資料の配架場所は本号が発行された時点のものです。

問) 「月月火水木金金」という言葉について知りたい。

答) 「月月火水木金金」をキーワードとして **ことば** で検索してみます

図書 → **ことば** → **月月火水木金金** ⇒49件

『戦前・戦中用語ものしり物語』(210.75/Ki68) 開架一般

『戦中用語集』(210.75/Mi25) 閉架一般

『歌でつづる20世紀』(767.8/O72) 開架一般

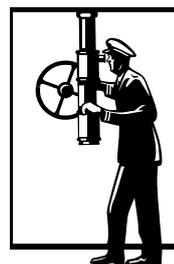
*「月月火水木金金」の様子やエピソードについて

『15年 戦争史学習資料 下』(210.7/A16/2) 閉架一般

『激動の我等が青春』(396.07/G32) 閉架一般

『海軍フリート物語(上)』(397.21/A44/1) 閉架一般

『心に刻む私の戦史』(916/Mo45) 閉架一般



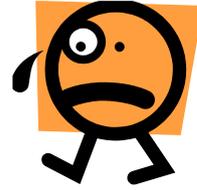
◎「月月火水木金金」…もとは海軍のことばで、正式な用語ではないが、海軍では土曜も日曜も返上して、連日訓練にはげんでいる、という意味である。このことばを題名にした歌が昭和十五年に発売されヒットし老若男女を問わず歌われた。(『戦中用語集』より引用)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

『週報』より…⑧



— 『週報』小話 —

このシリーズでは、昭和11年10月に政府が官報の附録として発行した『週報』より、主に生活に関する記事を紹介していますが、今回は『週報』に関連する資料を紹介します。



◆『写真週報』

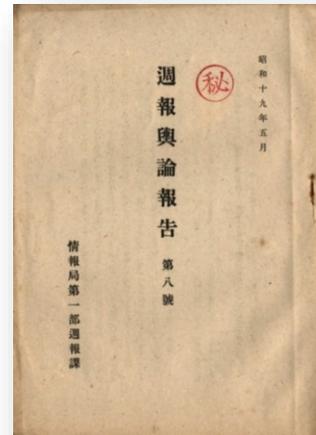
『週報』が刊行の2年後、昭和13年2月に発行されました。その目的は、『週報』と同様で、政府の行う政策の意図内容を伝えるため、法令の趣旨や内容を普及させることにありました。『週報』より、よりわかりやすく、写真を多用してその目的を達成しようとしたものです。

創刊号(左写真)に掲載された記事の一例を紹介すると、「見よ！試練の日本・銃後の力—静岡県田方郡西浦村・内浦村」と題して、青年団の労働奉仕や護国神社に集まって戦線へ行った夫や兄弟の武運長久を祈る家族らの写真が掲載されています。

◆『週報 輿論報告』

“刊行のことば”には、「『週報』『写真週報』に投書された国民の声で、それぞれの誌上に掲載するには適しないが、国民のいつわらざる声として、政府当局者の参考にするべきものが多い。そしてまた、この傾向を把握することは、世論の大勢を察知する一助にもなると思う。…戦時施策の遂行に幾分でも寄与すればと願ってのことである。…関係方面より積極的な御高見を得れば幸いである」とあります。

当館所蔵資料(右写真)の表紙にはマル秘の印。掲載内容は、「燃料工場では、待遇悪のため自殺者、逃亡者、缺勤者続出の困った実状」「勤労作業の金が欲しい」「魚屋への実績配給は不公平だ」等々、なるほど誌上には掲載できそうにありません。



— 図書室から —

寒さがいちだんと増してきました。北の丸公園の紅葉が楽しみです。

開架に新刊を追加しました。検索端末の新着資料で確認ができますので、ご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ No. 117

2009年11月21日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1